

# 第17期 第3回 白石区地域部会・運営部会 議事録

日時:2026年6月10日(水)10:30~12:00

場所:白石区役所 2階会議室(窓側)

---

## 出席

田中会長、服部副会長、常盤野副会長、備前氏・牧氏(相談室きよサポ)、正岡係長、実習生、小川氏(相談室あゆみ)、林氏(ワンオール)、戸田氏(夢民)、森岡氏(たまみずき南郷)、高橋氏(サニーケア)、稲垣氏(ピアデザイン)、竹田氏(楡の会)、事務局 西町

## 欠席

柳氏(社協)

---

## 1. 報告・連絡事項

### (1) 部会長より

・5月28日開催の運営会議について共有。

障がい者プランの取りまとめが終了。中央区においては、ヘルパー利用時の駐車場問題によりサービスが開始できないケースが深刻化している。

・強度行動障害支援について、「おがる」の取り組みを広報・周知し、事業所支援の質の向上につなげていきたい意向。

・4月後半、労働局主催の雇用未達成事業所向けセミナーが実施された。

・行政措置児童(里親等)に関し、就労選択支援を利用した場合は「措置決定通知書」による取り扱いとなる(札幌市)。

・6月2日 地域部会連絡会にて、各区子ども部会における8月最終週の研修企画が検討されている。

・6月15日、地区割導入後の現状確認として、関係者間で課題整理および部会での取り組み内容の精査を予定。(田中会長・相談室あゆみ山田氏・相談室きよサポ宮城氏)

### (2) 就労部会より

・現時点で大きな動きはなし。

・今後「集まる場」の開催に向けて日程調整を進める予定。

・AIを活用した業務改善について意見提案があり、内容は今後検討。

### (3) 基礎研修チームより

・先月打合せを実施。

・次回研修は7月末を予定し、三障がい+児童に関する障がいの説明や関わりについて、運営メンバー内でグループを作り資料作成、講義をする

・次週木曜日の打合せにて内容のブラッシュアップを実施予定。

・事務方としてみちくさ内藤氏が復帰予定。

・ヨベルより1名、運営委員として参加予定。

#### (4)子ども部会より

- ・6月25日に研修会を開催予定(区役所4階講堂、定員50名)。
  - ・現在51名の応募があり、1事業所から複数名参加のケースあり。
  - ・年間を通した活動として、6月の研修および2月の茶話会を軸に検討中。
  - ・その間に適宜会議を実施予定。
- 

## 2. 協議事項

### (1)課題整理シートの具体的な取り組みについて

#### ■高齢分野に関する課題

- ・高齢者からの利用相談が増加している。
- ・身体介助の必要性や受け入れ可能なB型事業所の有無が課題。
- ・包括支援センターやケアマネジャー経由の相談も増加。
- ・送迎対応の可否が利用可否の大きな要因となっている。
- ・制度上、国レベルでの整理が必要な課題と感じられる。
- ・デイサービスと類似した作業内容に対し、工賃の有無が論点となる場合あり。
- ・食事・排泄等の生活面支援の必要性も課題。
- ・障がい福祉サービス利用者の高齢化に伴う相談も増加。
- ・「生きがいの場」としてB型事業所が適切かどうかの検討が必要。
- ・高齢者(ケアマネ・包括含む)の就労利用について、就労支援事業所は利用受け入れ後に課題あるが、相談室は事業所探しが難航等それぞれ別のタイミングで課題が生じている
- ・高齢者を対象とした事業所の増加傾向あり。
- ・グループホーム利用において、設備面(見守りカメラ等)が課題となる場合あり。
- ・介護保険と障害福祉サービスの併用ケースが増加。

#### →対応案

- ・運営会議に地域包括支援センター関係者を招き、現状共有および意見交換の機会を設けることができないか。

#### ■在宅就労に関する課題

- ・在宅就労の利用にあたり診断書が必須。
- ・就労選択支援の活用が前提となっているが、制度の目的と本人意向が一致しないケースが見られる。
- ・就労選択支援事業所へ在宅利用前提でのアセスメント依頼も多い
- ・就労選択支援事業所より、就労選択支援開始にあたり既に研修も実施はいるが、改めて自立支援協議会としても各事業所向けに研修等の場があると良いとの意見あり

#### ■児童分野に関する課題

- ・受入条件を限定する事業所(例:オムツ不可、療育手帳A不可、養護学校不可等)が存在。
- ・送迎範囲の制限も含め、利用可能な事業所が限定される傾向あり。
- ・白石区は事業所数は多いものの、受入制限のある事業所も散見される。
- ・区内に高等支援学校がなく、遠距離通学を余儀なくされるケースあり。

- ・保護者がセルフで申請した場合、本人の障がい程度がうまく伝わらず、障がいに見合った加算が付かない場合あり、結果事業所が受け入れを断るケースがある
- ・重度ではあるが、重身児には該当しない場合、重身児のデイは利用できず、通常のデイも受け入れが困難とされるケースがある
- ・受け入れ条件を限定する事業所として、特定の養護学校の受け入れが不可

#### ■その他

- ・重度障がい児の支給決定のあり方についても課題として挙げられた。
  - ・課題整理シートを活用し、田中会長より現時点での取り組み状況について共有予定。
- 

### 3. その他

#### (1)各事業所からの報告

特になし

---

#### ■告知・PR

---

#### ■次回予定

日時:2026年7月8日(水)10:30~12:00

場所:白石区役所 2階会議室(窓側)

司会:備前氏